

高校生の修繕作業実習課外授業による担い手育成手法検討

■調査実施地域:兵庫県たつの市 ■調査実施者:任意団体「龍野地区まちづくり協議会」

目的

- 地元高校生が歴史的建造物への愛着とその保存等の取り組みを職業として興味を持てる課外授業を実施
- 課外授業で歴史的建造物に興味を持った高校生や卒業生のさらなる育成と地域の意識向上

取組内容

教材選びの検討

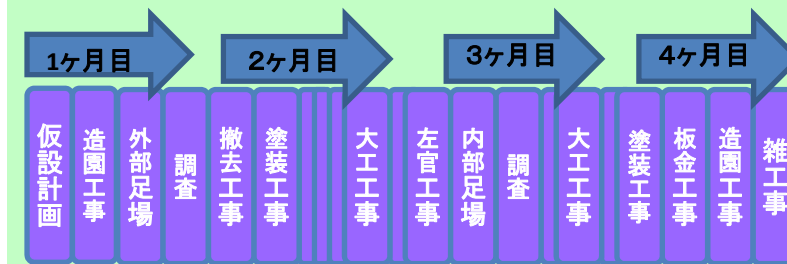


うすくち醤油資料館別館の蔵

【物件選定のポイント】

- ・持ち主の同意は得られるか？
- ・学期中に終了できる物件か？
- ・高校生の技量に合っているか？
- ・安全確保はできるのか？
- ・一連の工程がつくれるか？
- ・学校の希望は？

課外授業のプログラムの検討



通常1か月半程度の仕事を、課外授業の一週間サイクルにあてこむ。(約4カ月になる。)



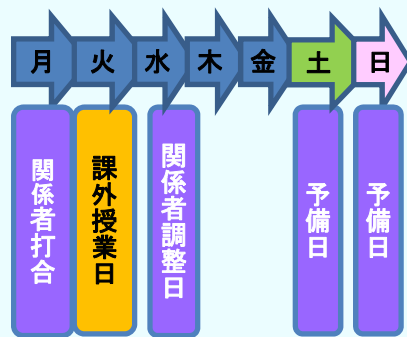
外部足場設置



大工さんの講義中

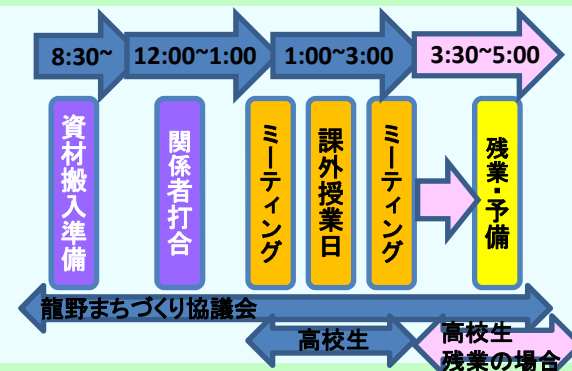
●時間割りの工夫

【一週間を一作業と考える】
工種別に作業の工程を決定し、一週間で一作業が終了するように組み込んでいく。普段の工事と違い、限られた授業の中で高校生に一作業ずつ完結させることで、工程が明確に進み、一作業ずつ達成感を感じてもらう。



●課外授業の一日の工夫

【課外授業2時間を基本にする】
一作業の一番作業らしい状態の始まりから終了で2時間の作業量を課外授業にあてる。午前中に資材搬入や下準備を行い、関係者の打合せを行う。高校生にミーティングをしてもらい作業の段取りを立ててもらい、3時の時点でできなければ残業を考える。



上記検討を踏まえ、実際に課外授業を実施（高校生10名参加）し、その効果を検証

本業務でわかったこと

- ・専門の職人を導入することで生徒・職人・住民が密接な関係がもてる。
- ・通常1か月半程度の工程を一週間のサイクルに組込むことで課外授業のカリキュラムにすることができる。
- ・課外授業の取組を通じ行政・専門家そして地域住民が「まちづくり」の視点で伝建へつなげる気運の上昇になる。